

# かしそく新聞

～訪問診療 編～

かつしか心身総合クリニック

「かかりつけ医」として在宅療養をサポート致します。

## 【冬の隠れ脱水と白湯・経口補水液・点滴の役割②】

(～第28号からの続き～)

▽脱水症のチェック方法: 普段と比べての変化が重要です。

- ① 握手して手が冷たくなる。⇒脱水症になると、血液は生存する上で重要な臓器に集まります。そのため、四肢抹消には血液がいかず冷たくなります。
- ② 口腔内を観察して、舌が乾いていたら脱水が疑われる。⇒脱水症になると、口の中の唾液が減少してきます。舌の表面も乾いてきます。ただし、鼻詰まりや口呼吸だと乾燥し易いので判断には注意を要します。
- ③ 皮膚ツルゴール低下(ハンカチーフサイン陽性)。⇒手背の皮膚をつまみ上げ、皮膚が2、3秒以上戻らなかつたら脱水が疑われ、10秒以上残ったら脱水症を強く疑う。ただし、高齢者は皺(しわ)が多いので、判断には注意が必要。
- ④ 親指の爪の先を押してみて、赤みが戻るのに3秒以上かかれば脱水が疑わしい。指先は血管が細いので、変化が出やすい部分です。
- ⑤ 腋窩(えきか=わきの下)に触って乾いていたら、脱水が疑わしい。⇒通常、腋窩は、汗による潤いがあります。脱水症になると汗が出なくなり、腋窩が乾燥します。

(※済生会横浜市東部病院 谷口英喜先生監修を一部編集しました。次号に続く。)

(医療法人財団ファミリー理事長 駒形清則)

## ～編集後記～スタッフのつづやき～

☆能登半島地震から早1カ月。テレビのニュースを見ている限りでは、風景にあまり変化がないように感じられます(2/1 現在)。雪などの影響でしょうか。義援金(台湾から25億6千万円など)は集まっているものの、被害の大きかった石川県などでは、まだまだ停電や断水が続いており、携帯電話もいまだに繋がらない地域も多いそうです。地上波テレビの復旧には23日間もかかり、それまで自分たちがどんな状況かもわからない人が多かったようです。2月に入り、寒さはこれからが本番です。国にはまず人命優先で対応して頂き、遠くからではありますが、なるべく早く復興されることを願っております。(K)

医療法人財団ファミリー

かつしか心身総合クリニック

〒125-0041 葛飾区東金町1-41-1 桜井ビル2階

① 外来: 心療内科=永井斐子院長、大川昭宏(顧問)  
内科=駒形清則医師

②訪問診療

内科=駒形清則医師

駒形明紀医師(非常勤)

精神科=米谷充医師(非常勤)

神経内科=今井壽正医師、西岡健弥医師(非常勤)

※詳しくはホームページをご覧くださいか、お電話にてお問い合わせ下さい。

電話 03-3627-0233